



インスピレーションになるう

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

月信

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2820 2018-2019



8

2018

No.2

国際ロータリー第2820地区

ガバナー 高橋賢吾

〒310-0026

茨城県水戸市泉町3-1-28第二中央ビル5F

TEL 029-350-2700 FAX 029-350-2701

E-mail: 18-19@rid2820.jp

ホームページ: <http://www.rid2820.jp>

Rotary
第2820地区



RI テーマ



インスピレーションになるう

目次

目次・表紙写真紹介／RI テーマ	
ガバナーメッセージ	1
クラブ奉仕カウンセラー・総括委員長メッセージ	2
総括委員長メッセージ・地区委員長紹介	3～12
青少年長期交換生募集要項	8
クラブ周年行事報告	13
会員増強セミナー報告	14
国際交流留学生報告	15
新会員紹介・ロータリー情報館	16
会員増強報告・出席報告	17
インフォメーション・文庫通信	18

表紙写真紹介

甲斐駒ヶ岳

日本には、駒ヶ岳と名の付く山は多いけれど、駒ヶ岳の中でも最も凛々しく個性的な山が甲斐駒ヶ岳である。そのピラミッド峰は美しく、真っ白な頂上はとても魅力的だ。頂上付近は花崗岩の白砂を敷き詰め、その砂の中をザクザクと少し滑りながら登って行くのも面白い。登山口から頂上まで、標高差 2200 メートルの急坂を登り続ける黒戸尾根は、日本三大尾根としても有名である。

写真・文＝高橋賢吾ガバナー



ガバナーメッセージ 「会員増強月間によせて」

国際ロータリー第 2820 地区

ガバナー 高橋 賢 吾 (水戸西)

会員増強は毎年、地区やクラブで力を入れている重要なテーマですが、2820 地区の会員数はここ数年、1950 名から 2000 名の間を繰り返している状況です。そこで本年度より地区戦略計画委員会を設置し、地区の中長期計画を策定し、目標を設定して地区の抱えている課題を改善していくこととなります。そして、地区戦略計画の最優先の課題が会員増強です。地区の会員を5年後何名にするのか、そのためにどのような方法で増強を図るのかを議論し、行動して参ります。各クラブに於かれましても中長期計画を策定し、クラブの活性化のため、充実したクラブ活動遂行のため、会員増強に努めていただきたいと思います。まずはクラブの理想とする会員数は何人なのか、目標を達成するためには何がネックとなるのかをクラブ内で議論し、コンセンサスを得て、全会員で増強活動に取り組むことが必要です。1年や2年で目標達成は難しいと思いますが、長期にわたり継続することが大切なのです。私たちロータリアンのインスピレーションを駆使して今年よりも来年と、変化をもたらす活動を推進して参りましょう。そしてまた別な会員増強の手段として、衛星クラブの設立があります。まだ2820地区には馴染みの薄い存在ですが、これからの

会員増強に有力なツールとなることでしょう。そのために各クラブで、もっと衛星クラブについて研究をしてください。どのようなメリットがあるのか、どのような変化をもたらすのかを想像してください。クラブ内の活発な議論と導入の検討をよろしく願いいたします。



会員増強・新クラブ結成推進月間に因んで



クラブ奉仕カウンセラー

倉 沢 修 市

(竜ヶ崎)

8月はロータリーの会員増強月間です。なお、仏教徒の多い日本では8月13日・14日・15日と大晦日、正月の3ケ日は国民祝日と同じ扱いで良いとのこと。 (定款第8条第1節)

当地区では会員が2,000名を切っています。1,100名以下になりますと隣接地区に編入させられることがあります。当地区も一時は3,000名位いたことがあります。

明日の茨城の為に「ロータリーのServiceの理念」(相手を思いやり、他人の為に尽す)を持つ

た人が一人でも多くなるのが、より住み易い茨城に、茨城の魅力度アップにもつながると思います。

高橋賢吾ガバナーは、「より活動しやすい組織に→より効果的な活動をする→より世間知ってもらう→より多くの後継者を育成する→存続の為に会員を増やす→活動資金である寄付金を増やす→更に効果的な活動ができる」との基に、クラブが地区委員を有効的に、活性化の為に活用して頂くことを願っています。

【会員増強目標】

会員が29名以下のクラブは1名以上の純増
会員が30名以上のクラブは2名以上の純増
女性会員や40歳未満の会員の積極的増強
ロータリーに入会するローターアクターを増やす

ロータリークラブの拡大や衛星クラブなどの設立などにご尽力下されますことをお願いします。

クラブ奉仕



**総括委員長
メッセージ**

クラブ奉仕総括委員長

井 澤 卓 司

(水戸南)

会員増強はロータリー運動の目的ではなく、あくまで成果です。会員増強を簡潔に表現すれば、仲間(友達)を増やすことです。「奉仕の理想」の旗のもと、ロータリーの諸活動に積極的に参加する仲間を増やすことです。ロータリー入会に際し、綱領や理念に賛同して加入する人は皆無です。勧誘した会員の人物人柄、クラブの雰囲気、イメージやブランド力、例会のプログラム、負担すべき費用や時間等が重要な判断基準です。即ち魅力的なロータリークラブか否かが鍵で、クラブに魅力が無いと人は集まりません。

高橋賢吾ガバナーの地区スローガンは「ロータリーの心と力を地域社会へ」です。各クラブが地域のニーズを反映した将来像を描き、効果的な戦

略計画を立案実施するよう要請しています。そしてクラブの活性化・強化を図るため、ロータリー賞を受賞可能なクラブを増やすことを地区目標に掲げました。

2016年規定審議会で、多様性を尊重しクラブ運営に大幅な柔軟性が認められました。クラブ細則の修正により例会の頻度、形式や出席に関して変更が可能となりました。地区クラブ奉仕委員会は、クラブ運営のサポートを始め、会員減少や高齢化等、クラブの抱える諸課題や悩み事の相談にも、正面から取り組む所存です。





会員増強委員長

村田 文彦

(北茨城)

2018-2019年度 クラブ奉仕委員会 会員増強委員長を拝命致しました北茨城ロータリークラブより出向させていただきます村田文彦です。宜しくお願致します。

皆様、『会員増強』はなぜ、必要なのですか？
『地区の会員増強目標』を達成する為にどのような行動計画を立てますか？
例えば、「PDCA サイクル」の手法で「計画を

立て、実行し、計画の進捗状況を検証し、改めて行動する。」の作成をする。また、会員同志がその情報の「共有化、見える化」をすること等、これらを基に会長・幹事、そして全会員が一丸となって、本気になって『会員増強運動』を展開して頂ければ幸いです。

また、ロータリーの奉仕活動に対して会員全員が改めて「自信と誇り」の「心」を持ち、いつも「明るく・楽しく・前向きに」行動することも大切です。

クラブの将来のために多くの同志を募り共に奉仕活動することにより、クラブの更なる発展の原動力が『会員増強』であることを我々が信じて行動を起こすことも大切だと思います。

皆様のご活躍をご祈念申し上げます。



クラブサポート委員長

長野 久嗣

(水戸)

クラブサポート委員長を拝命いたしました、長野久嗣と申します。宜しくお願申し上げます。

本年度、高橋ガバナーの「地区はよりクラブに寄り添うべきだという」思いに基づき、当委員会はロータリー情報委員会からクラブサポート委員会と名称が変更されました。

昨年度は各クラブに中期戦略計画策定のお願

い、各クラブの3年以下の会員に対するロータリー情報の教育等を行いました。本年度は以下の事を目標に委員会を運営してまいります。

- ・クラブ戦略計画（中期計画）によるクラブの強化、活性化をサポート。
→特に中期計画3年目を迎えるクラブの次の計画に対するサポート
- ・クラブ戦略計画（中期計画）未制定のクラブに対するサポート。
- ・卓話などによるクラブへのロータリー情報の提供。
- ・地区戦略計画への関与。
- ・RLI (Rotary Leadership Institute) への協力
微力ながら頑張りますので、宜しくお願いたします。



公共イメージ委員長

大高 司郎

(高萩)

地区公共イメージ委員長を拝命いたしました大高司郎です。

今年度のバリー・ラシン RI 会長の優先項目と、高橋賢吾ガバナーの地区目標に「公共イメージと認知度の向上」を掲げておられます。委員会としては、この意向を受け従来のマスメディアを利用した広報活動に加えソーシャルメディアを最大限に活用し、ロータリーの活動に対する人びとの理

解を深めるためにメッセージを発信しなければなりません。

「ロータリーデー」「ポリオデー」の開催等、元気なクラブの活発な奉仕活動を広く地域社会に発信し、ロータリーのブランドイメージを向上させ、地域社会の評価を高め、それがクラブを更に元気にする、そんな好循環活動を目指しましょう。

■主な活動計画

1. SNS の積極的活用。
2. ポリオ撲滅をロータリーブランドに。
3. My ROTARY の活用推進とロータリー賞のチャレンジ。

皆様のご理解とご協力、ご支援をお願い致します。



IT 委員長

野村 貴広

(水戸西)

IT 委員長を仰せつかりました、水戸西 RC の野村貴広と申します。よろしくお願い致します。

石山央委員(水戸西)、佐藤広道委員(東海那珂)、石井秀明委員(東海那珂)と力を併せて頑張っております。また、藤居年度よりホームページの更

新等をお願いしている日立の大森様にも、引き続きお世話になります。

月信1号にも原稿を掲載して頂きましたので詳細は割愛しますが、ただいま本委員会は、2820地区ホームページの刷新に取り組んでおります。

地区ホームページに関するご意見や掲載したい情報などございましたら、是非お寄せください。

今年度のロータリー目標の1つである「公共イメージと認知度の向上」を実現するために頑張っておりますので、皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

奉仕プロジェクト



**総括委員長
メッセージ**

奉仕プロジェクト総括委員長

郡司 孝夫

(水戸西)

2018-19年度の「地区奉仕プロジェクト総括委員長」を拝命致しました、水戸西 RC の郡司と申します。

奉仕プロジェクト委員会は、新しく組織された委員会で、「職業奉仕委員会」「社会奉仕委員会」「国際奉仕委員会」の3委員会を包括する形で組織されました。

奉仕プロジェクト委員会の組織づくりに関しては、RIの中で「クラブを成功に導くリーダーシップ・奉仕プロジェクト委員会編」として、その設立の意義が記載されております。初めて組織された委員会なので、戸惑いが有ることと存じま

すが、わたくしは、以下の2項目に重点を置いて、本年の目標として実施して参りたいと思います。

1)「奉仕活動」というものを、今までの「各委員会ごとの奉仕活動」の枠を外して、鳥瞰的に見つめなおすことによって、より地域に密着し、必要とされる、密度の濃い奉仕活動を実施して行くための委員会としたい。

2)各クラブによって人数等の差があり、其々の委員会を設置することの負担を軽減し、其々のクラブに合わせた委員会の設置をし、奉仕活動を実践する。但し、委員会を超えて、奉仕活動を実施するのでありますから、質の高い奉仕活動と言うものを是非、実施して頂きたいと思っております。どの様に見直し、実施したかは、研究会、セミナーなどを通して、ご報告を頂きたいと考えております。

いずれにしましても、初めての組織であり、戸惑いも多いことと思っておりますが、私も頑張っておりますので、皆様の多大なご協力、ご指導を切に願う次第であります。



職業奉仕委員長

久保谷 充

(阿見)

木村薫職業奉仕総括委員長の後を引き継ぎ、2018-2019高橋年度の職業奉仕委員長を仰せつ

かりました阿見ロータリークラブの久保谷充です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

今年度は、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会が奉仕プロジェクト委員会になりました。

目的としては奉仕活動内容が関連している活動もありますので、(1)効率化と活性化を図る、(2)会員数の少ないクラブの合理化を図る、(3)縦割りの委員会活動を統一することにより横のコ



コミュニケーションが図られ、より質の高い奉仕活動を行うことができます。

特に会員数の少ないクラブは、少しでも地域社会の一員として貢献できる特色のある奉仕活動し

ていければよいのではないかと思います。

今年度は、クラブ奉仕事業調査等を参考にしながら目標を立てて皆様のご指導を頂き頑張りますので、宜しくお願いいたします。



社会奉仕委員長

佐川 真治

(水戸東)

奉仕プロジェクト委員会の社会奉仕委員会として

- ・ 地区内クラブ奉仕プロジェクトを調査し、2820 地区奉仕活動一覧の作成
- ・ 地区内奉仕プロジェクトに於いて特に優秀なクラブ奉仕プロジェクト事業の紹介

以上2点を活動目標といたします。

これは地区内全ての奉仕プロジェクトを調査し可視化する事により、クラブ奉仕活動を地区内に広報できる事と、他クラブ奉仕活動を参考にして頂くための資料にして頂く事を目的としています。

既に地区研修・協議会の奉仕プロジェクト分科会に於いて、「2820 地区奉仕プロジェクト事業一覧」のご提供が出来ました。主たる事業のアンケート調査でしたので、全奉仕プロジェクト調査一覧には至っていませんが、クラブ奉仕プロジェクト

の見直し、自クラブと他クラブとの差異の検討、また他クラブの奉仕プロジェクトを参考にする為の資料としてご活用頂ければ幸いです。地区ホームページに奉仕プロジェクト一覧を掲載しダウンロードして頂ける様、現在調整中です。この奉仕活動アンケート調査は今後も継続する予定です。アンケート依頼が届きました際はご協力頂きますようお願い申し上げます。

クラブで各奉仕委員会単独での奉仕活動が出来る事は素晴らしい事です。しかし、それにとらわれることなく、クラブの奉仕委員会やクラブ奉仕の各委員会が連携をとり、事業をして頂くこともまた一つの素晴らしい奉仕です。またそれがクラブの特徴にもなります。

さらにその素晴らしい奉仕事業を地域へ広報することもロータリークラブの活動として重要で有ると考えます。クラブ公共イメージ委員会と更なる協力をして頂き、地域への広報もお願いいたします。

クラブ会長をはじめとするロータリアン皆様のご指導を頂戴しながら、社会奉仕委員会活動を進めてまいります所存ですので、ご協力の程、お願いいたします。



国際奉仕委員長

中村 康博

(牛久)

変革無き組織はいつか衰退し、消滅するのか。

今年度の地区国際奉仕委員会に対して、高橋DGがRI方針に基づいた、変革を打ち出されました。

但し、各クラブの国際奉仕委員会がこれを理解し、一緒に変革が出来なければ全てが空回りで終わる懸念があります。

地区国際奉仕委員会は、各クラブのサポート的な存在です。

今年度も、主役である各クラブ、国際奉仕委員会の継続事業、新規事業のお手伝いをさせて頂きたいと思っております。

是非とも一緒に考えさせて下さい、連絡をお待ちしております。

- 1) WCS この指止まれに関しては、石井委員
- 2) グローバルgrant事業、財団委員会との事業は、柴山委員
- 3) 国際交流、タイ（バンコク）フィリピンは石川委員、鶴田委員
- 4) 国際親善奨学金は、大津委員
- 5) その他、諸々：中村康博

(nakamura@tokyo-shomei.com : 090-3245-4596)

宜しくお願いします

連絡先：18-19@rid2820jp

Tel : 029-350-2700 Fax : 029-350-2701



青少年奉仕



総括委員長 メッセージ

青少年奉仕総括委員長

稲本 修一

(土浦南)

今年度は地区総括委員長3年目最終年度となります。これまで各小委員長、委員の皆様を支えられてきましたこと感謝申し上げます。

地区の青少年奉仕は、インターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換の4つの部門がありますが、それぞれがオーバーラップする関係上、委員全体のチームワークが大切ですが、派遣された委員はそれぞれ自覚を持って責任を果たしてくださっています。

高橋ガバナーは、青少年奉仕に殊の外重点を置いています。それは取りも直さず、青少年に奉仕することは将来のロータリアンに繋がることだからです。ロータリーのプログラムはすべてロータリーの思想が注入されています。その思想を充分理解し、各々の立場で具現化していくことによってロータリー精神がしっかりと根付き、やがての時に花開き、実がなるのです。

ロータリーに関係する、高校生、大学生、留学生、社会人の若者達を「ロータリー学友」として連続性のある組織づくりを目指すというのが今年の課題かと思います。

最近の若者は、組織に入ることを嫌う傾向にあるといわれています。しかし、将来の日本を背負う若者を育てる責任は我々にあります。ひとりでも多くの若者がインターアクト、ローターアクト並びにライラに加われるよう、ロータリアンの皆様のご協力をお願い申し上げます。



インターアクト委員長

木村 美枝子

(水戸好文)

本年度インターアクト委員長に選任されました、水戸好文ロータリークラブの木村美枝子でございます。当地区では5つの提唱クラブの支援のもとにインターアクトクラブが活動しています。7月にはインターアクト台湾研修が実施され、台

北東海ロータリークラブの紹介で台湾の高校生と活発な意見を交わすことができました。

インターアクト委員会では各インターアクターがロータリーのグローバルコミュニティとのつながりを持つことで、活動の輪を広げ、異文化を学び、世界の仲間と共に国際理解を深めることを奨励しています。この委員会の委員長としての私の責務は、提唱クラブのロータリアンと共に自らのネットワークを広げ、青少年がリーダーとして成長するために積極的に奉仕することです。どうぞ、地区の皆様のご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。



青少年並びにライラ委員長

皆葉 真治

(つくば学園)

本年度は第39回ライラを10月7、8日の2日間で「大洗こどもの城」で開催いたします。ライラの現状はロータリアンに認知されているとはいえない状況です。ライラは幅広く参加者を募集しています。ご子息、事業所での若手社員の方等に広くご参加頂くことによりリーダーシップを学ぶ

場としてもご利用頂けると考えています。我々は参加の方の人間的な成長のお手伝いがあると確信しております。ぜひ参加者のご紹介をして頂けないでしょうか？

また会長、幹事、青少年奉仕委員の方の参加をお待ちしております。グループ討議に参加頂き、社会人、ロータリアンとしての経験をお話し頂きたいと思います。そして「若い力」を体感して各クラブへお持ち帰り頂き次年度への橋渡しをして頂きたいと思います。ライラの素晴らしさは、携わった人がクラブメンバーに伝えて頂くことが各クラブに浸透していく唯一の道ではないかと考えます。参加をお待ちしています。



ローターアクト委員長

遠藤 靖

(日立北)

初めに、昨年度3月17・18日、茨城県民文化センターにて第30回全国ローターアクト研修会を無事に開催することが出来ました。当日はたくさんの方にご臨席いただき、「楽しかった。茨城の魅力をたくさん発見できた」といった有り難い言葉をいただき、茨城のローターアクターがホストを無事成功に収められたことに大変感謝しております。当地区ロータリークラブ・ロータリアンの皆様のご指導ご支援の賜物であります。厚く御礼申し上げます。

さて、当地区ローターアクトにおいては、8クラブ、会員50名弱のスタートとなります。

クラブ数・会員数の減少傾向にあることが課題であります。

学生や社会人という立場のローターアクター(18～30歳の若者達)が協力し合い積極的に奉仕・

親睦活動を行っています。今年度地区ローターアクト地区ターゲット「再構築」(予定)であります。全国研修会を終え、基本に戻りクラブの例会、奉仕・親睦活動、そして会員増強につなげていきたいと思っております。

ローターアクトクラブの主な地区行事は年間4回、アクトの日(9月10日前後)、地区交流会(10月頃)、世界ローターアクト週間(3月13日前後)、地区大会(4月頃)とあります。

提唱クラブはもちろん、未提唱クラブのロータリアンにもローターアクターの活躍、成長ぶりを是非ご覧いただきたいです。そして、若者をご紹介ください。最近、当地区でもローターアクト出身からロータリークラブに入会された方が出てきています。ロータリーの未来の発展のため、地域社会の発展繁栄のために全ロータリアンにご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

最後になりましたが、私は、ロータリー入会10年目、地区委員3年目になります。ローターアクトクラブをより発展繁栄させていくためにローターアクターと共に1年間尽くしてまいります。まだまだ若輩者ですが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



青少年交換委員長

藤田 玲子

(水戸好文)

皆様もご存じの通りロータリーの青少年交換留学には長い歴史があります。

これまでに、2820地区では、アメリカ、フランス、タイとの1年間の長期交換留学、タイの3350地区とは8日間の短期交換留学を行っており、国内外で活躍できる優秀な青少年の育成に大きく貢献しています。

私は18歳の時に、オーストラリアで行われていた、アジアを中心とした若者のためのリーダー育成研修プログラムに参加をしました。

約20人の若者が参加し、世界情勢、政治、経済、文化や参加者の互いの国について学びました。プログラムは3ヶ月でしたが、当時の私は、やる気はあっても何をすべきか良くわからず空回りしていた感じでした。でも周りの人達が根気よく応援

をしてくれて、自己研鑽と得難い経験をすることができました。

肌の色、言葉、習慣、育ってきた環境の違う人々と交わるうちに、国と国の間では様々な違いがあっても、心を悩ませる問題や人が嬉しいと思うことは万国共通であることがわかりました。そして「人のあり方が国のあり方」という言葉の重みを痛感しました。今日もこの言葉が私の指針の一つになっています。

18歳以降、インド、カンボジア、ヨーロッパ諸国で平和構築のサポート、日米欧の経済人会議のアシスタント、国際会議の運営のボランティアを約30年続けてきました。

この度地区の青少年交換委員長として、これまでの経験を活かしながら将来を担っていく留学生達の育成奉仕活動に参加する機会を与えられましたことに感謝申し上げます。

委員の皆様やRPOTEXの学生と共に「この委員会に入って良い奉仕活動ができた」と実感し合える2018-2019年度にしていきたいと思っております。

皆様の忍耐強いご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



- ◆目的 ▶ 10か月を過ごす長期交換は、複数のホストファミリー宅に滞在しながら、現地の学校に通います
 - ・自分で考え、率先して行動する力を育てる
 - ・外国語や異文化を学ぶ
 - ・海外の若者と交流し、友だちをつくる
 - ・帰国後もROTEX(長期交換生友会)の一員となり国際理解を深める活動ができる
- ◆交換先 ▶ アメリカ、フランス、タイに各国1名 ※注 * 希望に添えないこともあります
- ◆期間 ▶ 2019年8月中旬～おおよそ10か月
- ◆応募資格 ▶
 - ① 茨城県内の高等学校に在学中の者
 - ② 保護者の同意を得られる者
 - ③ 最寄りのRCの推薦を得られる者(RCが不明な場合はご紹介いたします)
 - ④ 成績が上位1/2以上で、在籍学校長の推薦を得られる者
 - ⑤ RC宿泊研修会や研修旅行の全日程に参加できる者(参加費交換生負担)
 - ⑥ 渡航前の研修会や説明会等に参加できる者
- ◆応募方法 ▶
 - ① スポンサーRC(応募資格③)から推薦状をもらう
 - ② <https://rijyee.org/excs/index.php?f=2720> にアクセスし、「青少年交換学生の登録及び学生情報フォーム」に必要事項を入力する
- ◆費用 ▶ 交換生負担: 航空運賃、RJYEC海外旅行疾病傷害保険、旅券・ビザ取得費用、現地での研修旅行費
R C 負担: 現地での滞在費(宿泊・食事・学費等)
- ◆募集締切 ▶ 2018年09月10日(月)
- ◆選考試験 ▶
 - ① 2018年09月22日(土)[面接試験] 会場: 水戸市国際交流センター
 - ② 2018年10月06日(土)～07(日)[筆記試験-英語、宿泊研修会参加の感想文] 会場: 大洗こどもの城
- ◆合格発表 ▶ 2018年10月12日(金) 合格者にメールで通知
- ◆研修旅行 ▶ 2018年12月26日(水)～28日(金) 海外からの交換生と共に県外に研修旅行



問合せ先：2018-19年度高橋賢吾ガバナー事務所
〒310-0026 茨城県水戸市泉町3-1-28 第二中央ビル5F
TEL 029-350-2700 E-mail: 18-19@rid2820.jp

ロータリー財団



総括委員長 メッセージ

ロータリー財団総括委員長

藤居 彰一

(日立)

ロータリー財団総括委員長を拝命致して居ります、日立ロータリークラブ所属の藤居彰一です。山崎清司前委員長の後を受け、今年度で3年目の最終年度を迎えます。会員の皆様の御理解と御協力により、何とか無事務めて参りましたが、貴重

な浄財の有効活用に取り組んで参ります。

7年前に妻に先立たれ、二人の息子も東京で独立し、現在は一人で生活をしております。

若い頃は、登山やゴルフなども多少嗜みましたが、現在は専ら健康維持を目的に、一回10キロのウォーキングを、なるべく状況の許す限り毎日を目指して実行に心が掛けて居ります。実績値としては、一月当たり、150～200キロ(15日～20日)歩き、体調の維持に努めて居ります。更に、趣味とは申せませんが、毎年の国際大会への出席は、種々の情報交換をするのに絶好の機会でもありますし、近隣の地域へ旅行をするのも楽しみであり、健康を含めて、状況の許す間は続けたいと考えて居ります。



ポリオプラス委員長

岩崎 聖一

(古河)

2018-2019年度地区ロータリー財団ポリオプラス委員長を仰せつかりました古河 RC 所属岩崎聖一です。

今年1月からのポリオ発症例数は6月5日現在パキスタン2、アフガニスタン8、計10件となっております。

ロータリーは全世界でポリオを撲滅するために

1988年以来、世界保健機関（WHO）、米国疾病対策予防センター（CDC）、国連児童基金（UNICEF）ビル&メリンダゲイツ財団とパートナーシップを組み世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）に取り組んできました。

昨年度のポリオ撲滅のためのプロジェクト金額は、財団全体のプロジェクト資金総額の40%に達しています。2017年のアトランタ国際大会では基調講演を含めポリオ撲滅推進活動一色といっても過言ではなかったと思います。

ポリオ撲滅運動はポリオ撲滅の日が目前に来ている今が、まさに正念場です。

是非会員皆様のご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。



資金管理委員長

宇留野 秀一

(水戸南)

当資金管理委員会は、補助金を適切に管理し、資金を有効に活用していただくための委員会です。そのため、補助金管理セミナーの実施を支援し、各クラブの皆さまに補助金を正しく理解していただくことで、悪用や不正を防止しつつ、積極的な資金の活用を支援してまいります。

補助金管理セミナー等においては、補助金の管

理に関する遵守事項（領収書の保管・銀行口座の管理など）をご説明するほか、補助金の申請方法、利用並びに報告までを具体的に説明し、各クラブでの地区補助金を使った奉仕プログラムがスムーズに実施できるよう、サポートさせていただいております。また、MOUの参加認定を受けていただくことによって、グローバル補助金も利用できるようになります。

皆様から頂いた財団の寄付金は、皆様の手で有効に活用していただくことが重要です。当地区では地区補助金、グローバル補助金とも活発な利用がなされてきており、今年度も各クラブが積極的に取り組んでいただけるよう取り組んでまいります。



資金推進委員長

五十嵐 久也

(水戸東)

ロータリークラブの使命、それは、「ロータリアンが人々の健康状態を改善し教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすること」です。

ロータリーの活動を継続していくうえで、皆様の財団への深いご理解と温かいご支援が大きな力となっています。

ロータリー財団は皆様の「寄付」を資金とし、

いろいろな奉仕作業に活かされています。

皆様の「プログラム参加」によって地区補助金が活用され、海外での「プロジェクト」にはグローバルな補助金として活かされています。寄付金は地元のニーズ、世界のニーズに応じ、地元及び国際社会に大きく貢献しています。

寄付金を集める時期については、各クラブ様々ですが、11月の財団期間（ロータリーの7月～12月上半期）であれば、確定申告までにロータリー日本財団（公益財団法人ロータリー日本財団）より領収書も発行され、税制上の優遇措置が受けられます。

「決議23-34号議案」第4条には、「ロータリー運動は単なる理念の提唱ではなく実践哲学であること、奉仕するものは行動しなければならぬ」



と記述されており、善意と奉仕の心がなければ、ただの社交クラブになってしまいます。

今年度は、下記の地区目標を掲げております。

年次寄付 (会員一人) 130 ドル

ポリオ寄付 (会員一人) 20 ドル 合計 150 ドル

恒久基金 (ベネファクター) 1,000 ドル

PHS 1,000 ドル 各クラブ1名以上

『明日のロータリーが、どのようなものになるかは、誰にも予測できない。しかし、ただ一つ確かな事は明日のロータリーが今日の貴方の行動にかかっています。』

全クラブ地区目標 100% 達成のご支援、ご協力をお願い致します。



補助金委員長

新井和雄

(下館)

畏くも、昨年に引き続き地区ロータリー財団補助金委員長を仰せつかりました下館ロータリークラブ所属の新井和雄です。

近年は、多くのクラブで地域の奉仕活動に地区補助金をご活用いただくことが定着してまいりま

した。また、海外友好地区を中心に、グローバル補助金を活用した人道支援プロジェクトが活発に行われております。そして海外に留学する日本人学生への支援として、グローバル補助金からの奨学金支給が増えてまいりました。こうした意欲ある会員の皆様方の活動、そして将来国際社会で活躍することが期待される学生を支えるべく、申請された補助金が国際ロータリー財団に速やかに承認されるようにサポートするのが我々補助金委員会の役目です。どうぞ遠慮なくご相談いただき、多数のクラブから多くの申請があることを望みます。一年間どうぞ宜しくお願いいたします。



平和フェローシップ委員長

新井和雄

(下館)

本年度、平和フェローシップ委員長に選任されました下館ロータリークラブ所属の新井和雄です。

ロータリー平和フェローシップ・プログラムは、平和と紛争解決の分野で国際的に活躍する人材を

育成することを目的として、国際ロータリーが提供する奨学金プログラムです。

そして、本プログラムを卒業した学生は、NGO、政府機関、国際機関などにおいて、平和構築と紛争解決に貢献しております。東西冷戦が終わり、世界が平和になるという一時の願いも空しく、今日も民族や宗教の対立、テロ、政争など内戦、紛争が絶え間なく続いており平和が遠のく感があります。このような世情を背景に本プログラムの重要性はますます高まっています。2820地区としましても、平和の担い手となる人材を積極的に支援してゆく所存です。





米山記念奨学会



総括委員長 メッセージ

米山記念奨学会総括委員長

井田 充夫

(つくば学園)

私は2004年10月つくば学園 RCに入会しました。国際・青少年・プログラム・RC財団委員長を務め、2013年会長を受け学友会の関わりから地区米山委員会を3年担当し、今の総務を受けることとなりました。

仕事は基板の検査治具やFA（工場の自動化）設備の設計・製作を行っています。物作りの全ての工程を自社内で持っていますので、アイデア

製品やその生産設備を設計からやってみたいと思っています。

42歳で脱サラして茨城に来たので友人がほしかった事と、今までの人生の中に奉仕という単語が頭の中になく、「利他が人間の究極の幸せ」とは何となく感じていたので入会しました。古希になってオーナー会長をまだやっていますが、社員とともに外国から来る留学生の為に私に何ができるのか、余生で追及し結果を出したいと思っています。

日本が唯一行っている米山奉仕活動は、国際と青少年奉仕とつながっています。人口減少、労働力不足の中、経済発展をして国を維持する為には年間15億を集め800人の留学生に生活費を提供し、ロータリー精神、日本文化を正しく知ってもらうことは、日本の発展につながる活動と確信しています。



米山寄付増進委員長

茂木 勉

(波崎)

本年度米山記念奨学会寄付増進委員長を担当することになりました。1年間よろしく願いいたします。

当地区の寄付の状況は毎年全国で上位に位置しています。昨年度の一人当たりの平均寄付額は第4位、24,298円/人でした。本年度の受入れ米山奨学生は新規、継続を含めて31名の留学生を受け入れています。この結果から当地区の米山奨学会への理解度の高さがうかがえます。地区としてはロータリアンの皆様方から頂いた寄付金が米山記念奨学会の目的に沿って有効に活用されるよう

特に奨学生の選考、並びに採用後の奨学生の教育、世話クラブとの連携に努めてまいります。

本年度、高橋ガバナーの寄付目標額は前年度と同じ普通寄付5,000円/人、個人特別寄付20,000円/人です。この目標額は多数のクラブが達成していただいております。しかし、当地区ではここ数年でクラブ数が55クラブに減少しました。会員数の増加もあまり見込めないのが現状です。今後、当地区でより多くの米山奨学生を育てていく為に、個人特別寄付と併せ、まだまだ少ない法人寄付を積極的にお願ひしていきたいと思ひます。法人寄付においても税制の優遇措置、感謝状等の表彰制度もあり、会社のイメージアップ等のメリットも併せてPRし、今後、普通寄付、個人特別寄付に法人寄付を加えた寄付の3本柱となるよう努めてまいりますので、ご協力をお願いいたします。





米山学友委員長

高橋 采子

(古河東)

今年度米山学友委員長を仰せつかった古河東 RC の高橋采子と申します。

米山記念奨学会はロータリー年度の始まる7月からではなく、4月から新年度の行事が始まります。すでに4月28日にはクラブカウンセラー・米山記念奨学生の為のオリエンテーションが開催され、6月2日、3日には米山梅吉記念館研修・

墓参旅行が行われました。学生たちは、米山記念館で丁寧な説明に熱心に耳を傾け、米山梅吉翁の遺徳に感動をしておりました。今年度31名の優秀な学生さんを物心両面でサポートし、日本をより一層理解してもらい、米山梅吉翁の意に沿った学生さんを育てるべく、様々な企画をたてております。9月には日本文化を体験してもらう為、浴衣を着せて神社をお参りし、書道や華道の体験をしてもらおうと考えております。年末には学友会主催の米山奨学生と学友会の懇親会があり、学友会による色々な催しが企画される予定です。1年間を通してロータリー米山の精神をしっかりと学んで戴き、日本と母国の架け橋となり、世界平和に貢献してもらいたいと思います。



米山選考委員長

米川 幸喜

(水戸南)

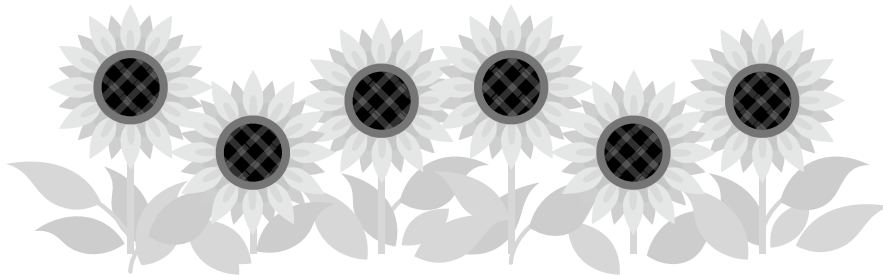
2018-2019年高橋賢吾ガバナー年度から、2820地区「米山記念奨学会」に新しく設置されます「選考委員会」委員長を仰せつかりました、水戸南 RC 所属米川幸喜と申します。1年間よろしくお願い致します。

「選考委員会」とは、文字どおり、本地区が受け入れます米山奨学生となる学生の指定校の選

考、留学生の面接選考・合否の決定、また世話クラブ・準世話クラブの選考配分等を担当致します委員会となります。

私は、前年度2017-2018年に初めて、地区米山記念奨学会の委員を仰せつかり、1年間の委員会活動の中でも米山奨学生の面接選考60数名の募集学生から、本地区に相応しい30名余りの学生を決めるという事は、大変な責任感を感じました。今年度は、選考委員長として2820地区の「米山奨学生」素晴らしい学生達を迎えられますよう努めて参ります。

みなさまのご協力を賜ります様よろしくお願い申し上げます。





水戸南ロータリークラブ

水戸南ロータリークラブ創立45周年記念式典

創立45周年記念式典実行委員長

松本隆史

水戸南ロータリークラブは、1973年5月4日に仮発会式、同年6月7日にRI加盟承認を得、今年で創立45周年を迎えました。本年5月11日（金）に、多くのご来賓と関係者をお招きし、例会場である水戸プラザホテルに於いて、創立45周年記念式典を挙行了いたしました。

式典には、国際ロータリー第2820地区ガバナー保延輝文様はじめ多くのロータリー関係者、そして姉妹クラブである韓国清州西原ロータリークラブ、友好クラブであるタイ国シーロムロータリークラブと高松西ロータリークラブの皆様にご出席いただきました。また、ご来賓といたしまして、水戸市長高橋靖様にもご臨席を賜りました。

記念式典は、関係者の皆様やご来賓の方々のあいさつに始まり、記念事業の目録贈呈や表彰等が行われました。閉会の点鐘後に参加者全員で記念撮影を行い、祝宴となりました。祝宴では、ウエルカムミュージックのバンドウーラ奏者カテリーナさん（ウクライナ）の素晴らしい演奏に感動し、その後も楽しいひとときを過ごしました。最後に、参加者全員で輪になって「手に手つないで」を歌い、終宴となりました。

ご協力いただきました皆様に感謝申し上げ、記念式典の報告とさせていただきます。



会員増強セミナー報告

日時：6月10日(日)
場所：水戸プラザホテル



会員増強委員長

村田 文彦
(北茨城)

第2820地区2018-2019年度クラブ奉仕委員会
会員増強委員長を拝命致しました北茨城ロータリー
クラブより出向致します村田文彦です。宜しく
お願い致します。

今回の「会員増強セミナー」に多くの会長、幹
事様にご参加頂きまして誠にありがとうございました。
また、1日お疲れ様でした。

- ・ 午前の部はRI第1、2、3ゾーン地域別会員増
強計画プロジェクトリーダー水野功様をお迎え
して「会員基盤強化にむけて」を題材としてご
講演を頂きました。
- ・ 続いて、2016-2017年度地区会員増強で優秀
クラブ2クラブに事例発表を実施致しました。
日立港 RC2018-2019年度会長菅原光雄様、し
もだて紫水 RC2017-2018年度会員増強委員長
田中啓樹様が事例発表を行いました。
- ・ 午後の分科会では各クラブの会長様を対象に
「会員増強計画」の策定をメインの題材として
分区ごとにテーブルディスカッションを実施し
ました。分区ごとにまとめて頂いた議事録は
データ化して各クラブの会長、幹事そして会
員の皆様宛にお送りさせて頂き今後の「会員増
強計画」に役立てて頂ければと考えております。

これから各クラブの会長様を中心に具体的な増
強計画を作成する必要があります。下記の手法を
ご参考にして如何ですか？

*会員増強の「PDCA サイクル」

1. 明確な増強プランを立てること。(Plan)
2. 具体的な行動計画を立て実行すること。(Do)
3. スケジュール表を作成して皆で毎月チェック
をすること。(Check)
4. プラン通りに実行されていない場合はプラン
を改善し実行すること。ロータリークラブの
会員増強の「歯車」を新たに回して下さい。
(Act)。

今回の会員増強セミ
ナーで学んだことをご
参考にして頂き、具体
的な目標、計画をたて
て頂き、会長・幹事を
中心にそして全メン
バーが一丸となって、
本気になって実行して
頂ければ幸いです。



『増強の歯車』

また、ロータリーの奉仕活動に対して改めて「自
信と誇り」の「心」を持ち、クラブの将来のため
に積極的に会員増強をすることが大事な事だ
と思っております。「会員増強セミナー」のご参加
誠にありがとうございました。





第二回報告書

第 2820 地区国際交流留学生

栞原 悠暉

皆さま、こんにちは。いかがお過ごしでしょうか。私は今アメリカのカリフォルニア州のロサンゼルスにいます。現在はスイスの学校が夏休みに入ったため三ヶ月間ロサンゼルスに滞在し、英語を学んでいます。日本はもちろん恋しいですが、次の学期そして自分の将来のため今は休んでいる暇はないので、毎日楽しみながらアメリカで生活をしています。

さて、六月の初めに隣町のクランモンタナのロータリークラブの前年度代表の Gunilla Hedman さんにお会いしてきました。第一回報告書でも書かせていただきましたが、私の現在の学校のカリキュラム上、平日のお昼に行われる例会には参加することが難しいのが現状です。しかし、個別で代表の方に連絡してお会いする機会を作っています。

Gunilla さんはとても気さくな女性で親切な方でした。わざわざ学校の近くのレストランまで来てくださり、一緒にコーヒーやクロワッサンをいただきながら、隣町のクランモンタナのロータリーのお話は勿論、水戸西ロータリーの話からスイスでどんなことを勉強しているのかまで、話題が尽きなくあっという間の時間を過ごすことができました。話してみると私が通っているレロッシュの学校の先生の方にもロータリアンがいることも判明しました。基本的にクランモンタナのロータリークラブはフランス語を話す方々が集まっていると仰っていましたが、数人は英語が話せる方もいるということでした。クランモンタナのクラブメンバーは約 50 人くらいで、男性が多いそうです。私が水戸西の卓話で話したことや、今までのロータリー活動を通して考えたことなどを話しました。本当に人間的に魅力的な方々ばかり、それでいて皆さん気さくで暖かい。そのようなことを素直に話し会いました。

そして、私は水戸西ロータリークラブのバナー旗と自分の名刺を渡しました。たまたま Gunilla さんはそれらを持ってはいませんでしたが、次回夏休みを終えスイスに戻る九月にクランモンタナのクラブのお食事会並びに会合にゲストとして招待しますと約束してくださりました。また、夏休みはロサンゼルスに語学を学びに行きますと申し上げたところ、私の知り合いのロータリアンがロスに住んでいるからと、連絡先などを教えてくださり、現在彼女とメールにてやり取りをしている最中です。今週末にも彼女とこちらでお会いし、第 2820 地区国際交流留学生としてさらに世界と積極的に交流を深めて行きたいと思っております。



学校の近くのレストランにて



新会員紹介



下館 RC
内山 勝洋
■入会年月日
平成30年4月18日
■職業分類
電話事業



古河中央 RC
矢内 禎樹
■入会年月日
平成30年5月1日
■職業分類
金融業



つくば学園 RC
鈴木富士雄
■入会年月日
平成30年6月1日
■職業分類
歯科医師



阿見 RC
飯田 重
■入会年月日
平成30年6月7日
■職業分類
運送・倉庫業



阿見 RC
吉田 貴洋
■入会年月日
平成30年6月7日
■職業分類
土地家屋調査士



日立 RC
北見聡一郎
■入会年月日
平成30年6月12日
■職業分類
鉄骨工事業



日立南 RC
小野瀬 裕
■入会年月日
平成30年6月12日
■職業分類
設置業



つくば学園 RC
田中 芳和
■入会年月日
平成30年6月14日
■職業分類
総合建設業

ロータリー 情報館

*このコーナーは、茨城新聞のコラム欄「ロータリー情報館」の記事をピックアップして紹介します。

保育園児による和太鼓演奏会（青少年育成事業）

水戸西ロータリークラブ 会長 金澤卓也

3月28日水戸市京成百貨店エントランスで、社会福祉法人 地球の子ども会が運営する『ちゃいるどはうす保育園』『ちゃいるどはうす森のほいくえん』の園児による和太鼓演奏会が実施された。子どもにも分かるボランティアの話でロータリークラブの活動を知った子ども達はいつも以上の力を発揮、最後まで頑張って力強い演奏を聴かせてくれた。演奏しきった子ども達は、地域の方々の喜ぶ姿に『自分達も役にたった』と感じる事が出来た様子で満足感に満ち溢れた表情を見せた。

未来を担う小さな子ども達が、このような体験から自信をつけ、他者への思いやりの心が育ってくれることを願う。





分区	クラブ名	会員増強報告(単位/人)							出席報告(単位/%)				
		本年末 会員目標	期首 会員数	5月実績		本年度累計			2018年 5月末日	うち 女性	例会数	5月出席率	年間通算 出席率
				入会	退会	入会	退会	増減					
第1分区	日立	74	72	2	0	17	12	5	77	1	5	69.78	75.60
	日立南	30	28	0	0	2	0	2	30	0	3	85.19	93.33
	高萩	31	30	0	1	2	3	-1	29	1	4	78.23	80.56
	北茨城	28	27	0	0	2	2	0	27	3	4	86.11	82.58
	日立港	36	34	0	0	8	1	7	41	2	4	98.61	86.46
	日立北	40	37	0	0	2	4	-2	35	0	4	94.17	82.97
	日立中央	20	19	0	0	1	1	0	19	1	4	100.00	98.54
	合計	259	247	2	1	34	23	11	258	8		87.44	85.72
第2分区	那珂湊	29	28	0	0	0	0	0	28	1	3	62.82	66.56
	常陸太田	35	33	0	0	1	1	0	33	2	3	70.26	79.88
	大子	30	27	0	0	3	1	2	29	2	2	68.21	80.69
	大洗	31	30	0	0	0	2	-2	28	0	3	89.73	88.97
	勝田	28	27	2	0	4	0	4	31	3	3	66.67	70.66
	東海那珂	46	44	0	0	0	0	0	44	0	3	80.49	79.43
	ひたちなか	18	15	0	0	0	0	0	15	0	3	77.78	77.17
	合計	217	204	2	0	8	4	4	208	8		73.71	77.62
第3分区	水戸	117	112	4	2	8	7	1	113	0	4	80.74	76.73
	笠間	13	12	0	2	2	3	-1	11	0	4	72.90	79.50
	水戸西	85	80	0	0	4	3	1	81	9	4	88.94	90.04
	水戸南	100	96	0	2	4	5	-1	95	13	3	77.15	70.80
	友部	28	25	0	0	1	3	-2	23	0	4	76.09	82.51
	水戸東	71	68	1	0	6	3	3	71	3	4	83.89	84.80
	水戸さくら	34	32	0	1	2	4	-2	30	2	3	86.40	76.05
	水戸好文	14	13	0	0	1	0	1	14	13	2	75.00	83.52
	合計	462	438	5	7	28	28	0	438	40		80.14	80.49
第4分区	古河	63	60	0	0	3	4	-1	59	4	3	89.29	88.87
	境	40	37	0	0	3	3	0	37	0	5	67.28	78.48
	岩井	12	9	0	0	0	0	0	9	0	4	83.33	78.54
	古河東	66	61	0	0	4	0	4	65	22	5	77.69	75.67
	古河中央	34	31	1	1	4	2	2	33	5	3	75.75	82.07
		合計	215	198	1	1	14	9	5	203	31		78.67
第5分区	下館	34	31	0	1	5	5	0	31	2	4	100.00	90.50
	結城	37	35	0	0	0	2	-2	33	0	5	87.74	86.28
	真壁	20	19	0	0	1	1	0	19	0	3	84.21	88.72
	下妻	34	32	1	0	4	1	3	35	3	4	89.99	86.80
	しもだて紫水	39	36	0	0	6	0	6	42	3	4	88.09	83.38
	筑西きぬ	17	15	0	0	2	1	1	16	2	3	95.40	86.09
	岩瀬	24	23	0	0	0	2	-2	21	0	3	81.48	82.92
	合計	205	191	1	1	18	12	6	197	10		89.56	86.38
第6分区	石岡	30	28	0	0	4	4	0	28	0	4	77.65	81.56
	土浦浦南	64	61	0	0	3	3	0	61	7	3	93.31	76.64
	土浦南	92	90	0	0	5	2	3	93	3	4	90.13	89.71
	つくば学園	86	83	0	1	6	6	0	83	0	4	70.84	75.09
	石岡87	32	30	0	0	0	0	0	30	0	3	70.57	75.71
	土浦中央	26	23	0	0	1	1	0	23	3	4	85.87	75.48
	つくばシティ	50	47	0	0	3	0	3	50	8	4	76.00	75.56
	阿見	17	16	0	0	0	0	0	16	2	3	79.17	78.27
	つくばサンライズ	7	5	0	0	0	0	0	5	1	2	100.00	100.00
	合計	404	383	0	1	22	16	6	389	24		82.62	80.89
第7分区	竜ヶ崎	36	34	2	0	4	2	2	36	5	4	97.22	93.98
	水海道	54	52	1	0	4	3	1	53	0	3	100.00	80.21
	取手	25	24	0	0	1	3	-2	22	3	4	86.36	79.15
	牛久	37	35	0	0	3	1	2	37	2	3	87.96	81.00
	守谷	8	5	0	0	0	0	0	5	0	2	80.00	82.14
	龍ヶ崎中央	11	8	0	0	3	0	3	11	2	3	93.94	93.39
	合計	171	158	3	0	15	9	6	164	12		90.91	84.98
第8分区	潮来	14	11	0	0	2	2	0	11	2	3	90.91	88.27
	鉾田	33	29	1	1	5	2	3	32	1	4	100.00	95.76
	鹿島臨海	40	35	0	0	2	1	1	36	5	6	100.00	85.23
	玉造	18	15	0	0	3	2	1	16	1	3	91.11	83.48
	波崎	22	17	0	0	1	0	1	18	1	4	100.00	96.42
	鹿島中央	30	25	0	0	4	2	2	27	1	3	86.42	86.01
	合計	157	132	1	1	17	9	8	140	11		94.74	89.19
	地区合計	2,090	1,951	15	12	156	110	46	1,997	144		84.72	83.25

※期首とは7月1日の午前0時時点、末日とは当月末日午後12時時点とする。

8月のガバナー公式訪問

- 8月1日(水) 古河中央 RC
- 2日(木) 日立港 RC
- 7日(火) 銚田 RC
- 9日(木) 鹿島中央 RC
- 27日(月) 那珂湊 RC
- 28日(火) 日立南 RC
- 29日(水) 土浦中央 RC
- 30日(木) 下妻 RC

8月のスケジュール

- 8月19日(日) 第22回インターアクト年次大会
(水戸女子高等学校)
- 26日(日) 第1回会長・幹事会
(水戸プラザホテル)

お詫びと訂正

月信7月号P.10掲載
第6分区分岡 RC 幹事 竹松敏克様の
顔写真に誤りがございました。
訂正して、お詫び申し上げます。



文庫通信 370号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版元のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

講演より

- ◎「2人のRI会長・4つの骨の物語」
渡辺好政 2018 2p (D.2690 地区大会記念誌)
- ◎「家族のきずな」
今井鎮雄 [2002] 9p (D.2510RYLA セミナー)
- ◎「働く誇り」
矢部輝夫 [2014] 6p
(D.2510RYLA セミナー報告書)
- ◎「大切なのは今」
黒川光博 2018 8p (D.2590 地区大会の記録)
- ◎「輝いて生きる」
ジュディ・オング 2018 5p
(D.2780 地区大会報告書)
- ◎「グローバル化と自国第一主義」
池上 彰 2018 19p (D.2760 地区大会記録誌)
- ◎「関ヶ原から読み解く日本近代史～中国地方の徳川400年」
徳川家広 2018 12p (D.2690 地区大会記念誌)
- ◎「東海道新幹線とリニア中央新幹線」
葛西敬之 2016 8p (D.2760 地区大会記録誌)
- ◎「『無言館』のことー戦没画学生が伝えるもの」
窪島誠一郎 2018 12p (D.2590 地区大会の記録)
- ◎「サービスの極意」
田崎真也 [2018] 24p (D.2530 地区大会記念誌)
[上記申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL.03-3433-6456 FAX.03-3459-7506
http://www.rotary-bunko.gr.jp 【開館：午前10時～午後5時 休館：土・日・祝祭日】

編集後記

カナダ・トロントでの国際大会も無事終了し、お陰様で茨城ナイトも盛況でした。ご参加くださった方々、また支えてくださった皆さまには、事務局より、この場をお借りしてあらためて厚く御礼申し上げますとともに、今後1年間のご理解・ご協力のほど、お願い申し上げます。

さて、いよいよ新しいロータリー年度を迎えることとなりました。事務局としてもてんやわんやといった状況ですが、何とか運営して参ります。何卒、皆さまの多大なるご指導・ご鞭撻を賜りたく、お願い申し上げます。

月信編集委員長 梶山 伸治

Rotary
第2820地区



国際ロータリー第2820地区 ガバナー事務所

〒310-0026 茨城県水戸市泉町 3-1-28 第二中央ビル 5F
TEL 029-350-2700 FAX 029-350-2701

E-mail: 18-19@rid2820.jp ホームページ: http://www.rid2820.jp